



児童数 256 人
所在地 奥州市江刺愛宕字西下川原 8 番地
☎ 35-2061

江刺愛宕小学校は、明治6（1873）年に創立され、今年で 147 年目を迎えました。江刺地域の西端に位置し、北上川に沿った南北に長い地域となっています。学区には、江刺自慢の広大なリンゴ園が広がっており、子どもたちは、毎日リンゴの木を見ながら元気に登校しています。

江刺愛宕地区振興会のサポートは学校にとって心強い応援団で、毎朝・夕の登下校の見守り、親子読書の推進など、子どもたちが安心して学べる環境づくりにご尽力をいただいています。また、地区文化祭など、子どもたちが参加・出演する場もつくっていただいており、ふるさとの良さや地域の方々の温かさに改めて気付くことができる貴重な機会となっています。

「愛宕」って？

一般的には「あたご」ですが、「おだき」と読みます。これには歴史があります。

明治時代に3集落が合併する際は「あたご」村でした。しかし、「あたご」の名は全国に多く紛らわしいので、京都にある地名「愛宕（おたぎ）」にちなんで当初は「おたぎ」村と称されました。それがいつ

学校通信

体を動かそう！



ダンスで体を動かします

新型コロナウイルス感染症の影響で、1学期のほとんどの行事・集会が中止・延期になりました。そこで立ち上がったのが安全・運動委員会です。エクササイズを紹介したり、三密対策を取りながらさまざまなイベントの場を設けたりしてくれました。映像に合わせて楽しく踊れる「ダンスコーナー」は大盛況でした。

新型コロナウイルス感染症の影響で、1学期のほとんどの行事・集会が中止・延期になりました。そこで立ち上がったのが安全・運動委員会です。

エクササイズを紹介したり、三密対策を取りながらさまざまなイベントの場を設けたりしてくれました。映像に合わせて楽しく踊れる「ダンスコーナー」は大盛況でした。

の間にか「おだき」村と呼ばれるようになったのだそうです。

5市町村合併によって奥州市となり、市内に「愛宕小学校」が2校存在することから、旧市名を残し「江刺愛宕小学校」となりました。

愛宕小の3つの自慢



イチイの木

1つ目は「イチイの木」です。通称「おっこの木」です。旧校舎時代から、本校のシンボルとして長く愛されてきました。周りに置かれたベンチに座ってのんびり談笑する子どもたちの姿も、なかなか良いものです。

2つ目は「時鐘」です。明治43（1910）年に寄贈いただいた歴史ある「時鐘」で、今でも午前8時5分と午後4時25分に放送委員が良い音を響かせ、時を知らせています。



時鐘

3つ目は「プレザント・サンシャイン」（青い目の人形）です。日米親善のために1927年に贈られた12,739体のうちの1体です。その後の戦争により、敵国の人形として大部分が焼却・破壊されましたが、本校では、当時の宿直室に大事に保管されていました。



プレザント・サンシャイン

現在は校長室に置かれていますが、3～4月や大きな行事の際には多目的ホールに展示し、来校者にご披露しています。女の子で、衣替えもしているんですよ！

3年生リンゴ体験

本校では、3年生が総合学習の時間に愛宕の自慢の1つ「リンゴ」について学んでいます。マメコバチの果たす役割が大きいこと、摘花・摘果によって優れた品質のリンゴになること、農家の方々が願いやこだわりをもって栽培していることなど、普段何気なく食べているリンゴを別の角度から味わえるような学習となっています。



摘花を学ぶ子どもたち

黒石地区は、水沢地域の南部に位置し、西側は北上川に接し、東側は中山間地となっています。森林の占める面積が大きく、集落が点在しています。人口は約980人、世帯数は約370世帯、8つの行政区で構成されています。蘇民祭で有名な黒石寺、日本最大級のかやぶき屋根を誇る正法寺などの古刹や、古代の官道とされる東街道などの歴史資産、大師山や網代滝などの自然資産が豊富で、「ふるさと名所旧跡整備事業」や「東街道を歩こう」など歴史や文化を守る事業を進めながら、自然保護と環境美化に努めています。

夏は宿泊体験のできる「藤春院寺子屋」、冬は雪上で競う「親子ジャンボかるた大会」など、地域の特色を生かした行事を実施しており、次代を担う子どもたちの育成に地域が一体となって取り組んでいます。

黒石梅の里や高清水パークゴルフ場など新しい名所もできましたが、少子高齢化の波が押し寄せる中、人口減少に歯止めがかからない現状を打開するため、黒石地区振興会が中心となり、各団体との連携を図りながら、新たな取り組みを模索しています。

黒石「梅の里」

「黒石を梅の里として有名にしよう！」と、平成12年に700本の苗木から始めた「黒石梅の里生産組合」は、今年で20周年となります。3月下旬から4月にかけて梅の花が満開となり見ごろを迎えます。7月には大粒の梅の実がなり収穫作業が始まります。その後一粒一粒丁寧に天日干しをしてシソと塩だけで漬け込みます。皆さんぜひご賞味ください。



黒石小学校「蘇民太鼓」

今年で147周年を迎える黒石小学校では、平成5年に「蘇民太鼓」を結成しました。現在は4年生～6年生の児童が主体となり、日々練習を重ねています。毎年、黒石地区まつりのオープニングを飾り、運動会やZホールでの披露など、活躍の場を広げています。



いいとこ、知っとこ、おうしゅう

地区センター単位で各地区を紹介します



黒石地区

拠点 黒石地区センター
（水沢黒石町字鶴城9-2）
☎ ☎ 26-3819

大梅拈華山 圓通 正法寺

「奥の正法寺」の名で広く親しまれている正法寺は、南北朝時代の1348（貞和4）年に開かれました。黒石で有名な「正法寺梅」はこの「大梅拈華山」にあやかり名付けられたものです。正法寺では、地元の児童に正法寺の文化や考え方に親しんでもらおうと、黒石小学校全校児童を招いて「精進料理を食べる会」を開催するなど、地域とのつながりを大切にしています。地元の住民も正法寺入口の道路脇に歓迎用の花壇を整備するなど、地域とお寺が一体となった地域づくりを進めています。



高清水パークゴルフ場

設立から16年を迎えた黒石パークゴルフ倶楽部が活動する高清水パークゴルフ場は、高台にあり見晴らしが良く、地形を生かしたアップダウンのあるコースが18ホールあり、飽きのこないプレーが楽しめます。会員以外でも気軽にプレーできますので、ぜひ黒石へ。

